

授業デザインシート

2年1組	教科	国語	授業者	山口 晴美	本時	4 / 5												
単元・教材名	つながりを考える 「ポテトスープが大好きな猫」				場所	2年1組教室												
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理しながら、登場人物の設定の仕方や心情、言動の意味について考える。 ・読んで考えたことを知識や経験と結びつけて深め、説明できる。 																	
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項																		
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤アウトプット(一問のチャレンジ)																		
	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点・形成的評価【●】														
導入	1 基礎基本事項を確認する。	一斉 周囲 5分	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文法の問題を声に出して確認させる。分からないことは周囲に確認させて、最後は全員が声をそろえて確認できるようにする。 ・ 声出しと先読みを意識させる。 ・ これまでの学習を想起させ、本時の学習に関連付けさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">【学習の見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①付箋を貼って分析 ②心情が表れた表現を整理・分類 ③②を生かして表現 ④紹介し合う ⑤振り返り </div>														
	2 本單元における既習の学習事項を確認する。 3 本時の学習目標を立て、学習の見通しを立てる。	一斉 2分 一斉 3分																
<p style="margin: 0;">学習目標 おじいさんと猫のそれぞれに対する思いを、自分の言葉で説明しよう。</p>																		
展開	4 登場人物の言動を書いた付箋をワークシートに貼って分析する。	班 5分	③	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明の仕方としてモデルを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="margin: 0;">おじいさんは、【 】(な) 猫を【 】(と) 思っている。 猫は【 】(な) おじいさんを【 】(と) 思っている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時まで書いた付箋を、項目ごとに分類することで言動等を整理する。 ・ 人物の言動に心情が表れていることを理解できている。【●】 ・ 叙述に即した心情理解をさせ、勝手な憶測にならないように注意させる。 ・ 心情を言葉で表現しにくい際は、「+」の感情か「-」の感情かで判断させる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">言葉</th> <th style="width: 25%;">行動</th> <th style="width: 35%;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">おじいさん</td> <td style="text-align: center;">[付箋]</td> <td style="text-align: center;">[付箋]</td> <td style="text-align: center;">[付箋]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">猫</td> <td style="text-align: center;">[付箋]</td> <td style="text-align: center;">[付箋]</td> <td style="text-align: center;">[付箋]</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を基に記述できる。【●】 ・ 班の仲間全員が書けるようになったことを確認してから検討させる。 ・ 互いの表現からよりいい表現を検討させる。 ・ どの叙述が根拠となったかも説明させる。 				言葉	行動	その他	おじいさん	[付箋]	[付箋]	[付箋]	猫	[付箋]	[付箋]	[付箋]
		言葉	行動				その他											
	おじいさん	[付箋]	[付箋]				[付箋]											
	猫	[付箋]	[付箋]				[付箋]											
5 それぞれの付箋を、「気持ち・感情」の種類ごとにグルーピングする。 ① まとめてマジックで囲った後に、グループに名前をつけさせる。(例「愛情」等) ② 前時でまとめた登場人物の人物設定をもう一度確認し、関わりを考える。	班 10分	③																
6 グルーピングした内容を「根拠」「理由」として自分の言葉で表現する。 ① 難しい生徒はモデルを穴埋めする。 ② 終わったら、班ごとに交流する。	個 班 5分	④ ③																
7 互いに出し合い、グループ内の意見として検討し合う。 8 ホワイトボードに書いて発表し合う。	班 10分 5分	③ ④ ④ ⑤																
終末	9 本時のまとめをする。	5分		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の心情を考える際に、「言動」や「人物設定」など様々な根拠から類推できることを押さえる。 ・ 根拠をもとにすれば記述しやすいことを実感させる。 ・ 次時は、学習したことを自らの経験に置き換えて考えることを予告する。 														
	<p style="margin: 0;">目標達成の例：おじいさんは生き物を捕らないところも含めて猫を大好きでかわいいと思っている。猫は自分を大事にしてくれているおじいさんを大好きだと思っている。</p>																	
	10 次時の予告を聞く。																	